

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 6 区分

【発行日】平成 26 年 7 月 10 日 (2014.7.10)

【公開番号】特開 2013-159363 (P2013-159363A)

【公開日】平成 25 年 8 月 19 日 (2013.8.19)

【年通号数】公開・登録公報 2013-044

【出願番号】特願 2012-22562 (P2012-22562)

【国際特許分類】

B 6 5 B 69/00 (2006.01)

A 6 1 J 3/00 (2006.01)

【F I】

B 6 5 B 69/00 A

A 6 1 J 3/00 3 1 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 5 月 21 日 (2014.5.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

錠剤が取り出された錠剤シートを排出するための排出路と、
前記錠剤シートを前記排出路に搬送する搬送手段と、
前記搬送手段で前記錠剤シートを前記排出部に搬送する際に、前記錠剤シートをガイドする排出ガイド部と、を有する錠剤取出し装置であって、
前記排出ガイド部は、前記錠剤シートが搬送されるにつれて、前記錠剤シートの先端と前記排出ガイド部との接する角度が小さくなるように、重力方向に関して下側に凸となるように設けられている領域を有していることを特徴とする錠剤取出し装置。

【請求項 2】

前記排出ガイド部の前記領域は、円弧となるように設けられており、当該円弧の中心点は、前記付勢領域よりも搬送方向の下流側であることを特徴とする請求項 1 に記載の錠剤取出し装置。

【請求項 3】

前記排出ガイド部は、前記排出路に排出される錠剤シートを重力方向に関して下側に曲げるように設けられていることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の錠剤取出し装置。

【請求項 4】

前記排出ガイド部は、前記錠剤シートの両側端部をガイドすることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の錠剤取出し装置。

【請求項 5】

前記排出ガイド部は、前記領域と、直線形状の直線部とを有しており、
前記錠剤取出し装置から排出される錠剤シートは、当該錠剤シートにおいて初めに接触する位置に前記領域が設けられており、前記直線部は、前記領域よりも搬送方向下流側に設けられていることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の錠剤取出し装置。

【請求項 6】

前記排出路の当該錠剤取出装置の搬送方向に関する幅は、前記錠剤シートの搬送方向に関する幅よりも狭いことを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の錠剤取出し装置。

装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明の目的は、錠剤取出し装置のコンパクト化を実現すると共に、錠剤シートの排出時に錠剤シートが詰まる可能性を低減させるための仕組みを提供することである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明は、錠剤が取り出された錠剤シートを排出するための排出路と、前記錠剤シートを前記排出路に搬送する搬送手段と、前記搬送手段で前記錠剤シートを前記排出部に搬送する際に、前記錠剤シートをガイドする排出ガイド部と、を有する錠剤取出し装置であって、前記排出ガイド部は、前記錠剤シートが搬送されるにつれて、前記錠剤シートの先端と前記排出ガイド部との接する角度が小さくなるように、重力方向に関して下側に凸となるように設けられている領域を有していることを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

本発明によれば、排出ガイド部が、錠剤シートが搬送されるにつれて、錠剤シートの先端と排出ガイド部との接する角度が小さくなるように、重力方向に関して下側に凸となるように設けられている領域を有することにより、錠剤取出し装置のコンパクト化を実現す

ると共に、錠剤シートの排出時に錠剤シートが詰まる可能性を低減させることができる。